

(I) 10 月度 主要イベント

- 10 月 1 日(火)、中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)一次審査会開催
- 10 月 15 日(火)、内海社長(中国 NBC 理事)の経営者セミナー開催
- 10 月 17 日(木)、中国 NBC 正副会長会議、第 4 回理事会開催
- 10 月 24 日(木)、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)全国大会出席
- 10 月 26 日(土)、金融庁、日下室長講演会開催
- 10 月 30 日(水)、SOERU二次審査会開催

(II) トピックス

(1) 正副会長会議、第 4 回理事会

今年度 4 回目の理事会を開催しました。理事 22 名のご出席を頂き、定款に基づき理事会として成立しました。事前に正副会長会議を開催し、理事会で審議する内容を説明、ご理解いただきました。理事会の議案ならびに承認、了解事項の概略は以下の通りです。

【第1号議案】令和元年度上期入会会員の承認について(承認事項)

令和元年度上期入会会員数25先、各支部の入会会員数は、鳥取支部3先、島根支部1先、岡山支部3先、備後支部2先、広島支部9先、山口支部1先、個人会員6先であることを報告し、ご承認いただきました。(会員情報は常にホームページで最新情報を提供しております。)

【第2号議案】入退会状況および会費収入の状況について(報告事項)

令和元年度会員状況・会費収入状況・支部会員入退会状況、年会費未納先について説明し、了解頂きました。会員数については、令和元年9月末現在446先で平成31年3月末比5先減少です。会費の収入状況については、令和元年9月末現在で予算30,200千円に対して29,695千円の入金で予算比マイナス505千円となっています。年会費の未納先は、個人会員1先のみで、会員管理の精度は向上しております。(11月末時点で、会員数は9月末より9先増えており、収支状況も少し改善しており、引き続き会員増加を目指します。)

【第3号議案】プロパー事業・補助金事業の進捗、今後の予定について(報告事項)

A3 一枚にまとめてある資料「プロパー事業・補助金事業の進捗、今後の予定について」を使用して、プロパー事業、補助金事業の進捗状況と今後の予定を説明し了解頂きました。プロパー事業、補助金事業いずれも毎月の月報で報告している通り、順調に進んでおります。

また、この場を借りて、「第7回ニッポン新事業創出大賞 グローバル部門」において、(株)八天堂が中国NBC推薦で初受賞された事を紹介しました。

【第4号議案】その他(報告事項)

「エンジェル投資家&スタートアップマッチングイベント」、「ホームページ会員検索システム」、「JNB への中国地域からの政策提言」、「今後の会議開催スケジュール」について説明し、了解頂きました。毎月の月報で個別の内容が報告されておりますので、詳細は割愛いたします。

オブザーバーより、中国 NBC の入会メリットは何かと質問が出て、その場で重道理事より以下の回答を頂きました。『NB 大賞を当社が受賞する以前は賞の事は知らなかったが、受賞したことで会社の人生が変わった。NB 大賞表彰式に当社社員を多数参加させたが、外部から表彰を受けることを実際に見てもらうことで、社員にとっても誇りに繋がった。地方で NB 大賞表彰式のような会はなかなか存在しない。NB 大賞を登竜門に企業が成長することは極めて重要。様々な方と出会えるチャンスやきっかけとなった』。オブザーバーにも納得頂けたと思います。

【細川会長開会ご挨拶】



【理事会の様子(ごく一部です)】



【懇親会片山副会長ご挨拶】



(2) 第3回中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)進捗状況

3回目を迎える今年もありがたいことで50件を超える応募を頂き、SOERUの審査を開始しました。一次審査会では、主催3団体(日本政策投資銀行、中国経済連合会、中国NBC)と今年から協力の位置づけになった中国経済産業局の4団体で書類審査を行い、20件に絞り込みました。続いて4団体で手分けして20件の現地ヒアリングを実施し、この結果を基に4団体による二次審査会で10件に絞り込みました。この10件を11月14日の外部審査委員4人による最終審査会でご審議頂き、8件程度に絞り込み大賞を決める予定です。

【現地ヒアリング事例1】



【SKYPEによるヒアリング】



【現地ヒアリング事例2】



(3) 金融機関会員限定勉強会開催

金融庁地域金融企画室長日下智晴氏に弊協議会金融機関会員限定で講演をして頂いた。広島銀行時代に弊協議会とも関わって頂いたご縁でご支援頂いている。今回で二回目。講演タイトルは『変わる金融行政と地域金融機関のビジネスモデル』。

広島に本店や支店がある会員金融機関に声掛けし、6つの金融機関、中国財務局、中国NBCから合計13名が受講した。金融庁の最新の考え方・動向を説明して頂いた。曰く、金融庁

は地方の中小企業へ毎年アンケートを実施している。その結果、メイン金融機関に対する企業の評価のばらつきが非常に大きいことが明らかになった。企業に対して提供しているサービスの中身が銀行によって相当異なっているのではないかと金融庁は見ている。また、銀行の本部と営業店の間にも認識の乖離があると認識している。金融検査マニュアルの時代に戻ることはないので、金融機関の方々は独自性を発揮して、中小企業を支援してその対価として費用を受け取るビジネスモデルを目指した方が良いのではないかと、融資だけに拘ることは将来性がないのではないかと話されたように素人なりに理解しました。

また、こういう時期に金融機関から中国 NBC に出向して新規ビジネス創出の支援を実地に体験できるのは非常に良い機会を与えられている、とおっしゃっていただきました(お願いした訳ではありません)。大変ありがたかったです。

(4) その他

① (公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)全国大会(高松市)

JNB の年に一度の全国大会が高松で開催されました。これまで三年連続でニッポン新事業創出大賞の最優秀賞を頂いておりましたが、今年は4連覇なりませんでした。従来と審査方法、審査委員何も変わっていないという事で、今年は他地域の推薦企業に勝てなかったという事だと思えます。次回に向けて応募数を増やす活動を進めております。

基調講演では、『リーダーが育つ5つの知恵』という演題で(株)ニトリの似鳥会長が予定時間を大幅に超えて話されました。『トップは常に現状否定をして、一番苦労して、一番勉強しなければいけない。金がない、時間がないからできないは嘘で、①ロマン、②ビジョン、③意欲、④執念、⑤好奇心のどれかが欠けていることが多い』。などなど、大変示唆に富み、耳が痛かったです。

また、全国 NBC 女性部会のランチ会も開催され、岡山女性部会から佐藤女性部会長はじめ合計5名が参加され、大変刺激になったそうです。

【会場全体の様子】



【似鳥会長の基調講演】



【NBC 女性部会のランチ会】



② EYアントレプレナーオブザイヤー中国大会

新日本有限責任監査法人(中国 NBC 会員、所長には中国 NBC の監事もお願いしている)主催の“アントレプレナーオブザイヤー”中国地区ファイナリストに(株)村上農園の村上社長が選ばれました。壮行会に、過去のファイナリストである(株)アイグランの重道社長、(株)フェニックスバイオの蔵元会長(お二人とも中国 NBC 会員)が参加され、村上社長のプレゼンテーションを聞いて、アドバイスされました。

村上社長が利益の拡大に重点を置いてプレゼンテーションされましたが、アドバイスとしては、利益は他の候補も拡大されているので、それよりも事業の物語や世界へのインパクトを語ること

を伝えておられました。また、細かい話ですが、前夜祭には出席して審査委員長である出井伸之氏(元ソニー会長)と面会しておく方がよい、など経験者ならではのアドバイスがありました。

ちなみに、このご縁で後日、村上社長を訪問させて頂き、中国 NBC にご入会頂きました。

③ 2019 国際平和のための世界経済人会議

10月23日に、広島県主催で広島国際会議場にて、「2019 国際平和のための世界経済人会議」が開催され、その中の一つのセッションである「SDGsビジネスコンテスト」において、弊協議会会員の、(株)マエダハウジングの前田社長が優秀賞、それに(株)ラックスの山田社長が最優秀賞を受賞され、湯崎知事より表彰状を授与されました。事務局としても大変誇らしく感じました。

【前田社長の優秀賞表彰】



【山田社長が湯崎知事より最優秀賞表彰】



(5) 10 月度雑感

>> 昨年の SOERU 大賞を受賞された(株)petapeta の山崎社長のマッチングを支援したところ、うまく商品納入に繋がりました。岡山支部女性部会の方々も岡山県の SOERU 受賞者のビジネス拡大にご協力下さっているそうです。鳥取県でも福嶋部会長のご支援により、県主催のイベントで SOERU 受賞者のパネル展示をさせて頂きました。先輩経営者が若手経営者を育てる好循環ができつつあるようで嬉しい限りです。中国地域ニュービジネス大賞、中国地域女性ビジネスプランコンテスト、エンジェル投資家&スタートアップマッチングイベントを、ニュービジネス創出を通じた地域経済活性化を使命とする中国 NBC の 3 本柱に育てられたらと思っております。そのためには改善を入れながらの継続が一番だと思っております。細川会長の次年度方針に沿って、あれもこれもやります！！

以上